



ふるさと



学校 HP は、こちらからもご覧頂くことができます。

歩育のすすめ ～ 自力登校から得られるもの

校長 佐藤 義明

「キィ、キィ、キチキチキチ…」

今年も、城上の地に小さい秋を見つけました。百舌の高鳴きです。この時季、百舌は自分の存在を知らしめ縄張りを示すため、甲高く挑戦的な声で鳴きます。

さて、季節は秋色。子供たちは、毎朝元気に登校してくれています。朝のさわやかな空気や風の心地よさを身体いっぱいを感じていることでしょう。そんな子供たちの一学期の「振り返り」で、特に気になったのが次の項目でした。

質問事項	あてはまる
▼ みなさんは、歩いて登校・下校していますか。	52.5 (%)

本校は、スクールバスで登校する児童もいますが、少し手前で降ろしてもらい、歩いて登校していますし、同様に、遠距離通学児童についても、ある一定の距離で降ろしていただいています。その場合は、「あてはまる」でよいと思います。

自分の足で歩いて登校するよさを、私は次のように感じています。

○ 自分の命は自分で守る

通学路を歩いて登校する中で、危険箇所を確認したり注意すべき行動を学んだりしながら、危険を予知し、回避する力が育ちます。時には、指導を受けることもあるでしょうが、そうやって、常に大人から守られるのではなく、自力で危険へ対応する力が身に付きます。

○ 第2の心臓を鍛える

歩行により足を交互に動かすことによってポンプの役割をしながら、血液の循環を促していると言われてます。毎日歩いて登下校することは、無意識に心臓のはたらきを助けていることとなります。また、脚の筋肉は強化されますし、心臓も丈夫になります。

大脳への血の巡りも良くなるため、頭のはたらきも活発になります。

例えば、車で送る場合も少し学校の手前で降ろしてみましよう。毎日1kmの道のりを歩いて登下校する子どもは、往復2km、1年間の授業日数は約200日ですから6年間では？

$$2(\text{km}) \times 200(\text{日}) \times 6(\text{年間}) = 2,400\text{km}$$

城上小を中心に半径2,400kmの円を描くと、択捉島・ロシア・モンゴル・中国・フィリピンまで歩いたこととなります。すごい距離ですね。

○ 子供だけの時間も大切に

案外、子供だけの時間って少ないものです。学校・家庭・地域・・・子供たちは、いろんな場で大人と係わりながら生活しています。子供たちだけで登下校しながら、どんな話をするのでしょうか。みなさんの子供時代はいかがでしたか？これはこれでとても貴重な時間かと思うのですが・・・。

○ 感性豊かな人間性・ふるさとを愛する心を育む

学童期であるこの時期に、朝の新鮮な空気を胸一杯に吸い込みながら、自分の足で登校することで、きっと、心を動かされる素晴らしい感動がいっぱいです。

虫の声や鳥のささやき、草木や花の鮮やかさ、気温の変化等、バーチャルな世界ではない、わくわくする自然や郷土へ目を向け、関心を寄せ、感性豊かな人間性・ふるさとを愛する心を育むよい機会だと捉えます。

もしかしたら、朝、早く起きることが出来ないため、送ってもらっている子供もいるのかもしれませんが。一年で一番過ごしやすいこの時季に、就寝時刻・起床時刻・学習時間や持ち物の準備をする時間等を含めた生活リズムの整え方と共に、歩くことの大切さについても、ご家庭で話題にさせていただけると幸いです。

神無月に入り、保護者・地域の皆様には、秋季大運動会をはじめ、稲刈りや脱穀等大変お世話になっております。今後とも、子供たちの豊かな体験活動の充実に向けてご理解とご協力を宜しくお願い致します。

受賞おめでとう

【薩摩川内市青少年育成市民会議あいさつ運動作品コンクール】

＜最優秀賞：標語の部＞ 3年 川原 琥太郎
「あいさつで ぼくのパワーを おすそわけ」

【薩摩川内市理科作品審査会】

- ＜特選＞
6年 片平 悠葵 「どこを通っているのかな」
＜入選＞
3年 岩下 大器 (植物の秘密をさがそう)
3年 川原 琥太郎 「チリメンモンスターさがし」
3年 猿渡 仁愛 「紙飛行機 どのくらい飛ぶかな」
3年 猿渡 仁愛 「10円玉ぴかぴかにしよう」
5年 安藤 大登 「やぎの毛とねこの毛の違いを調べよう」
5年 上村 美結 「昆虫の寿命」
5年 戸島 爽汰 「地球温暖化について」
5年 松田 紗弥 「指紋を調べよう」
5年 南 優衣奈 「テープボールを作ってみた」
6年 立野 咲和子 「いろいろなあわ」
6年 松本 波音 「アリはどんな物を食べるのか？」

【南日本硬筆展】

- ＜推薦＞
1年 鶴屋 咲莉
5年 松田 紗弥
6年 川原 蒼生
＜金賞＞
1年 和田 優希
6年 立野 咲和子

【鹿児島県画作品展】

- ＜特選＞
1年 大山 琴葉 「おもしろいすべり台」
1年 南 亜輝人 「こうもりできたよ」
＜入選＞
2年 栢 あかり 「一輪車にのっているわたしたち」
2年 奥 結愛 「3人でブランコ」
3年 原 聖可 「たのしい三角ジム」
4年 栗原 愛依 「本を読んでいる友だち」
5年 松田 紗弥 「迫力のある消防車」
5年 上村 美結 「澄んだ水の高城川」
6年 川原 蒼生 「地域を守る消防車」
6年 立野 咲和子 「地域のお寺」



【第36回夢絵画コンクール】

＜佳作＞ 2年 鶴園 日向

【第22回全国川づくり標語コンクール】

＜入選＞ 2年 立野 明衣子
「うなぎさん うなぎさん もどってきてね まってるよ」

稲刈り・稲干し体験

10月14日(土)、稲刈り・稲干しを行いました。前日の雨で心配されましたが、当日は曇り空の中での稲刈りとなりました。地域や保護者の皆様の協力をいただき、無事に稲刈りを行うことができました。刈り取った稲の脱穀は、10月28日(土)に行う予定です。

子供たちに貴重な体験の機会を与えていただき心から感謝申し上げます。これからもよろしくお祈りします。



【稲刈りの様子】

薩摩川内元気塾

10月20日(金) 乾き亭げそ太郎様を講師にお迎えして、元気塾を開催しました。「志村けんさんからの教え」という演題で、これまでの経験や人との出会い、夢をあきらめず努力することの大切さなどについてお話をいただきました。終始軽妙な語り口で、場を和ませながらお話をしてくださいました。子供たちに貴重なお話をしただき、有意義な時間になりました。



【講演の一コマ】

11月の主な行事

○地域が育む「かごしまの教育」県民週間(1～7日)

- 1日(水) 自由参観(9:30～14:00)
- 2日(木) 自由参観(9:30～14:00)
- 6日(月) 命を大切に作る心を育む日 集団下校
- 8日(水) 仲良し音楽会(1～4年：午前)
- 11日(土) 学習発表会
- 15日(水) 弁護士出前授業
- 16日(木) スクールカウンセラー来校
- 20日(月) ユニセフ出前授業
- 21日(火) 租税教室(5・6年)



【9月のいじめアンケートの結果について】

先月のアンケートでは、「いじめを受けている」「身の回りでいじめを受けている人がいる」と回答した児童はいませんでした。しかし、日々の生活の中で、小さなすれ違いはあるようです。10月には、人権旬間も設定されています、この機会に、相手を思いやる気持ちについて児童と共に考え、意識を高めていきたいと思っております。

10月の生活・保健目標

【生活】落ち着いて読書や学習をしよう。

【保健】歯を大切にしよう。